



よいここのために 手を取りあおう

UNITE FOR GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度
 会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例会 第1627回 通常例会/小杉苑
ソング：四つのテスト、ふるさと ソングリーダー：増田陽子君

■ 会長挨拶 鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、本日も藤枝南ロータリークラブの例会にご出席いただきありがとうございます。青少年交歓留学生のベンツェ君のサポートでは、2月は、15日には、IGM4 班の笠原さん、秋谷さんに担当していただき、「東レアローズの試合観戦と温浴施設体験」、22日には、小池さん宅で「餅つき体験と豚汁パーティ」が計画されており、皆様のご協力に心から感謝を申し上げます。

「ロータリーの友」になるほどと感心しました掲載がありましたので紹介させていただきます。ロータリーの友「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載がされております。本日は、2月号に掲載された「やさしい日本語・はさみ」についてお話をさせていただきます。

日本で外国人と円滑なコミュニケーションを図るには「やさしい日本語」が有効です。日本語が母国語でない人に向けた、簡単で分かりやすく伝えるポイントは「はさみの法則」です。「は・さ・み」とは、①はっきり言う、②最後まで言い切る、

③短く言う、の3つです。

在日外国人の中には英語を理解できる人も少なくないですが、その割合は様々で一概には言えません。日常会話ではやさしい日本語のほうが通じやすく、短くシンプルな表現にするだけで理解が進みます。

まず「はっきり言う」は声を少し大きく、話す速度を少しゆっくりにして、あいまいな表現は避けることです。次に「最後まで言い切る」とは文の結末まで伝えること。「今ちょっと忙しいので・・・」ではなく「今ちょっと忙しいので30分後に来てください。」と伝えます。最後に「短く言う」は、一文に一つの意味だけを含めること。「私には警察官をしている弟がいます」は「私には弟がいます。弟は警察官です。」と分ければ、理解しやすくなります。

やさしい日本語を、一文に一つの意味だけを含めて、大きな声でゆっくりと話せば、ベンツェ君には伝えたい内容は十分に伝わると思いますので、紹介をさせていただきました。最後に本日の例会が、ご出席の皆様の新たな発見や気づきの例会になることを願っております。本日もどうぞよろしく願いいたします。

■ 出席報告 鈴木健夫君

| 本日のホームクラブ出席者 | 前回の補正出席者 |
|----------------|----------------|
| 38 / 49 77.55% | 42 / 49 85.71% |

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)
 ○植田君○漆畑君○江崎君○川口君○中野君

を作り子育てをします。昨年も五つのつばめの家族が子育てをし、巣立って行きました。つばめが来てくれることも、可愛いひなの姿が見られることもとても嬉しいのですが、そのフンの掃除は毎朝なかなか骨が折れます。

もうひとつはイチョウです。秋になると一齐に黄色く色づき、黄色を会社の色とする山田組の大切なシンボルツリーなのですが、その落葉の掃除はそれこそ一人では手に余るほどです。

でも掃除を続けています。今ではイヤイヤでも仕方なくでもなく続けています。

きっかけがあります。

数年前、休日に家族で出掛けたときのことで。コインパーキングの精算機の脇に自動販売機が並んでいました。そしてそのすぐ隣に、倒れて中に入っていた空き缶やペットボトルを周囲へまき散らしたゴミ箱がありました。小学生の息子から「パパ、ゴミが散らかっているよ。」と言われた私は「大丈夫だよ。掃除を仕事にしている人がいて、その人が片付けてくれるよ。」と言って通り過ぎようとしてしまいました。その時です。同年代のきちんとした服装の男性が、「しょうがねえなあ」と言いながらもゴミ箱を起こし、散らかった空き缶やペットボトルを拾い始めたのです。

恥ずかしかったです。人として父として、ゴミを拾わなかった、人任せにしてしまった自分を猛烈に恥じました。だから「ゴミを拾える人間」になろうと決めました。

昨年12月に、藤枝バイパスの谷稲葉インターチェンジの清掃活動に参加させていただきました。山田組の前の交差点から向こうは「自動車専用道路」の為、いくら「掃除したい」と思っても勝手に入ることは出来ません。国土交通省、藤枝市役所、トラック協会の実施する清掃活動に加えていただき、会社の職員と一緒に参加して来ました。総勢37名で、本当に情けなくなるほどたくさんのゴミを拾いました。

ゴミのない世界は実現不可能ですが、ゴミが捨てられていない世界は実現できると思います。これからも掃除を続けます。



小嶋英公君

趣味・特技の話
という、過去数
回私の趣味自転
車の話をしてしま
い、何の話をし
ようか困ったな
と思いましたが、

この4月から自転車を取り巻く大きな法改正があります、自転車趣味の自分としては、しっかり調べようと藤枝警察署に赴き話を聞いてきました、50ページ以上の冊子をいただき、じっくり拝見させていただきましたが、場合によっては自転車で起こした違反で自動車の免許が免停になりうる事態もありえるようですので、この時間を通して皆様にお伝えできればと思っています。

自転車趣味仲間では今回の改正を「青切符改正」と言われていますが、113項目にわたる違反行為が対象になるのですが、実は青切符というのは自動車免許、ドライバーをただ罰するためのものではなく、違反者全員を犯罪者にしない為の仕組みです。

自動車も青切符が導入される以前はいきなり「赤切符」を切られてしまい、刑事手続で検挙にされて調書作成や呼び出し、起訴、裁判を経て前科までついでしまう大変面倒で重大な事件になってしまう事もあったのですが、今回の自転車の青切符制度は出頭や裁判などを受ける必要もなくスムーズに反則金の納付をすることができるもので、自転車に乗る機会の多い学生の事故を減らしたり、普段シティサイクルに乗る人をターゲットとした法改正です。

なぜ、このような青切符制度は自転車にも導入されたかということ、シンプルに事故、交通事故を減らしたい。

しかし、今のままの赤切符制度は現場の警察官が捕まえるとかなりやっかい、すべて前科がついてしまうので注意や見逃しをせざるを得ない状況でした。

これでは軽微な違反は警察官が注意するだけで終わってしまうので結果として“自転車は何をしてもいい”という空気が助長されてしまっています。

静岡県のような地方では違反は目立ちませんが、都内や名古屋、大阪などは出張にいった際に驚くのがものすごい信号無視や違反の件数を短時間でみられます。

かなりおこりうる事象であるにご理解いただきますでしょうか？

さて今回の改正では大きなもので下記のようなものがあります。

携帯電話等使用（ながら運転） 12,000 円の罰金
信号無視 6,000 円

右側通行などの通行違反区分違反（いわゆる逆走）
6,000 円

一時不停止 5,000 円

傘をさしながらの運転 5,000 円

イヤホンなどの通話 5,000 円

二人乗り 3,000 円

並進禁止違反（横に並んで走行） 3,000 円

これら違反は指導警告をすっ飛ばして切符は切られますので、注意が必要です。

また違反を犯した場合、どのように違反者の身分確認を行い、青切符を切るのか、記載がなかったので、これは警察署に問い合わせました。まずやはり運転免許証の提示を求めます。運転免許証を持たない場合はマイナンバーカードや学生証など写真付きの身分証明書、それもないとなると、ここから問題で、どうするのと聞くと、「それでは署にご同行を」とお願いされてしまい、さらに時間の拘束があり、身分証明の提示ができる家族や勤め先などの関係者が出頭しないと解放されないようですので、わかりやすく言うと昔の不良が補導されて親が来るまで警察署につかまってしまう、という恥ずかしいこともありうる、自転車乗るときは免許証などの身分証明を携帯することが必要になったという事も大事です。

私も自転車に乗るときは財布は持たないので、昨年免許更新の再に晴れて人生初のゴールド免許になりましたが、その際にマイナ免許証とカードの免許証と両方持ちに変えて、スマホをの免許アプリから確認をしてもらえるようになったと思ったら、違反時はその場でマイナカードか車の免許証を呈示して、自分のアプリでマイナンバーカードを読み取り画面見せないといけないようです...

またこれまで同様に飲酒をして自転車に乗った場合ですね、これは青切符ではなく即、赤切符が切られます、またこれで事故を起こした場合、場合によっては「危険性帯有」という規定で道路御交通法第 103 条第 1 項 8 号に、「著しく交通の危険を生じるおそれがある場合、運転免許の停止や取り消しができる」と定められています。

実際に令和 6 年 11 月に自転車の酒気帯び運転で

検挙された男性 3 人が最長 6 か月自動車運転免許の免停処分を受けた実例があります。

歩行者に怪我をさせてしまったなどの場合は重大な過失と認められ車の免許証の安全義務違反にとられ自転車の免許違反にもなりうる可能性があるそうです。飲酒運転ダメ、絶対です。

自転車の飲酒運転に関する具体的な罰則（2024 年 11 月～）

酒気帯び運転（呼気 1ℓ 中 0.15mg 以上のアルコール）

：3 年以下の拘禁刑、または 50 万円以下の罰金。

酒酔い運転（正常な運転ができないおそれがある状態）

：5 年以下の拘禁刑、または 100 万円以下の罰金。

周囲への罰則：酒気帯び運転の自転車を提供した人、酒類を提供した人、同乗した人にも、罰則が整備されました。

行政処分：自転車の飲酒運転によって、自動車の運転免許が停止（最大 180 日）または取り消される可能性があります。

自転車運転者講習：違反者には講習が義務付けられます。

自転車も車両であるため、車と同様に飲酒運転は厳しく処罰されます。少しのお酒でも、自転車の運転は絶対に避けてください。

おわりに、今回の改正で私達普通のサイクリストからすると、自転車がきちんと車両として扱われる社会の流れへつながり、「自転車は車両だから車道を走るのは当然だよね。」というドライバーさんの認識につながる、私達サイクリストが求めている安全な自転車社会に近づいてきていると実感しています。

基本的に安全のためにルールを守っているサイクリストはきちんとした模範とならなければいけないなど実感しました。

以上になります、ご清聴ありがとうございました。





私の好きな言葉は、「苦しい時こそ上り坂」です。この言葉を初めて聞いたのは、漫才師の西川きよしさんが後輩に贈っていた言

葉としてなのですが、元々はドイツの思想家シラーの名言だそうです。

文字通り、「今苦しいのは、人間として成長しようと坂を上っているからだ」という意味です。

私自身、社会人になって 30 年余り。振り返れば、逃げ出したくなるような苦しい節目が何度もありました。しかしそのたびに、この言葉を思い出し、「今、自分は成長している最中なんだ」と自分を鼓舞して踏ん張ることができました。

私も今年で 55 歳になるので、サラリーマン生活もあと何年になるかわかりませんが、これからも苦難を「上り坂」と捉え、その先にある新しい景色を楽しみに歩んでいきたいと思えます。

(担当/秋谷貴也君)

| 例会日 | クラブ行事 | 摘要 |
|---------------------|---------|------|
| 3/6(金) 第 1628 回 | IGM 報告 | 理事会 |
| 3/13(金) 第 1629 回 | 会員卓話 | 小杉苑 |
| 3/27(金) 第 1630 回 | 桜花鑑賞 | びく石山 |
| 4/10(金) 第 1631 回 | PELS 報告 | 理事会 |



山本 空ハンガリー交換留学1月レポート(2026'2'8)

ハンガリーに来て6か月がたちました。とてつもない速さで時間が過ぎており、この一か月は特に大きな変化があったため紹介します。

1月10日には学校の行事で、一日学校に泊まりました。クラスでサバイバルゲームをしたり、夜遅くまでバレーボールをしたりしました。日本では経験したことがなかったため、とても新鮮でした。翌日には、ハンガリーにある大学の展示会に参加しました。以前、大使館で出会った日本人大学生の影響でハンガリーの大学にも興味を持っていたので、さまざまな大学や専攻について知ることができて良かったです。

1月16日から18日にかけて、ロータリーのオリエンテーションで、スロバキアとの国境沿いにある Satoraljaújhely という町を訪れました。ほかの留学生も参加し、高校の寮に宿泊しました。滞在中は寮で過ごす時間が多く、金曜日にはその高校の先生や生徒数名に対して、全員でハンガリー語の自己紹介を行いました。

土曜日の午前中には、D7 についてのプレゼンテーションを聞き、その後、ハンガリーで感じたことを皆で共有しました。国によって感じ方が異なり、学校ごとにもさまざまな特徴があることが分かりました。また、全員がハンガリー料理を気に入っていることも印象的でした。

学校制度についても学ぶことができました。ハンガリーには通信制高校が存在せず、基本的に全員が通学する必要があるそうです。また、半年に自由に休める日は2日しかなく、それ以上は医師の診断

書が必要になります。すべての学校には専用のセラピー施設があり、問題が起きた際はそこで相談できるそうです。高校を途中で変えることも珍しくなく、いじめや学校が合わない場合は転校が可能だと知りました。

その中で、自分の通っている学校はとても恵まれていると改めて感じました。英語での授業があり、ハンガリー語も先生や生徒とマンツーマンで学ぶことができおり、とても感謝しています。一方で、学校には友達はあるものの、「ベストフレンド」と呼べる存在がいないことに悩んでいます。もっと仲を深めたいと思っても、彼らはハンガリー人同士でいる方が心地よく、言語や文化の壁を強く感じています。

1月19日に、第一ホストファミリーから第二ホストファミリーへ移りました。新しいホストファミリーは自分のコーディネーターの家族で、父、母、兄2人、姉1人の構成です。現在は一番上の兄を除いた家族と一緒に生活しています。皆とても優しく、温かく迎えてくれました。男性陣は以前ロータリーの交換留学生だった経験があり、自分の気持ちに共感してくれることが多く、とても助かっています。

兄弟は全員20歳を超えており、年齢差もあるため、コミュニケーションが少し難しく感じることもあります。また、それぞれ生活リズムが異なり、夕食を一緒に食べることはほとんどありません。その点は少し寂しく感じています。朝食と昼食は自分で用意しており、朝に学校で食べる昼用のサンドイッチを作っています。

ホストマザーは英語を話せないため、ハンガリー語でコミュニケーションを取ろうと努力していますが、まだ自分の言いたいことを十分に伝えられず、もどかしさを感じています。現在はBudakesziという郊外に住んでおり、学校まで約1時間半かかります。一限目がある日は早起きが必要で大変ですが、この家族との生活で新しい経験ができることを楽しみにしています。

この家族と、ほかの留学生を誘って、ハンガリー最大の湖であるバラトン湖にも行きました。この湖は約10年ぶりに全面が凍ったようで、その上でアイススケートをしました。天気はあまり良くありませんでしたが、とても楽しい体験でした。

1月30日には、日本に留学していた方とホストファザーと一緒に日本のレストランに行きました。おにぎりや味噌汁を食べ、日本人スタッフの方と話すこともでき、楽しい時間を過ごしました。

1月の最後の週には、デンマークに住んでいる親戚がハンガリーに来てくれました。一週間ほど一緒に過ごし、日本食を作ったり、買い物をしたりして、久しぶりに「家にいるような感覚」を味わうことができました。彼女たちもロータリーの元留学生だったため、さまざまな経験を共有しました。最終日にはホストファザーと一緒にハンガリーを観光し、この一週間は自分にとってとても大切な時間となりました。

言語面では、成長をあまり実感できていません。この言語の難しさを日々痛感しています。学校では英語を話すことが多く、それが理由の一つだと感じています。二つの言語を同時に学ぶ中で、そのバランスを取るものの難しさを強く感じています。ハンガリー人にとっても、ハンガリー語で自分と話すのはエネルギーが必要なため、自然と英語で話しかけてくれることが多く、この状況に葛藤しています。

次の一か月は、周囲の人たちとさらに関係を深めること、そして英語からハンガリー語への移行を少しずつ進めることを目標にします。挑戦することをやめず、楽しみながら過ごしていきたいです。